＜記載様式＞

2018「神戸から学ぶ」 私の感想

平成30年年　　1 月 24 日

氏名（会員番号）	55 山田 美智子	参加回数	3 回目
参加した場所 （番号に〇印）	参加者：相原夫妻・池田・上原・植山・荏本・片山・早川・山田（美）さん計9名 Ⅰ阪神淡路大震災関連： ① 〇 神戸市役所 ② 〇 人と防災未来センター ③ 〇 神戸県立大学：青田先生の講演 ・ 同 大学院生との意見交換 ④ 〇 神戸南京町の懇親会 ⑤ 〇 1．17つどい（慰霊のつどい） ⑥ 〇 阪神高速（株）震災保管庫解説・見学　　移動　湯浅城宿泊 7名 Ⅱ稲村の火関連：サイクルまち歩き ⑦ 「稲むらの火の館」：・津波防災教育センター ・濱口梧陵記念館 ⑧ 国の史跡：広村堤防：現在の防波堤 ⑨ 濱口梧陵関連：感恩碑・銅像等 ⑩ 広八幡神社：梧陵濱口君碑（勝海舟撰文並題額） ：稲むらの火祭 Ⅲ その他各種資料・新聞等		
他の参加・見学等	長田駅周辺(長田神社) 新長田駅周辺		
今回参加した感想 （番号〇付記）	＊神戸に早めに到着したので震災で917人が犠牲になった長田駅や新長田駅周辺を見てきました。 火災が多く発生したところですが(遠くまでは行けませんでしたが)大震災モニュメントが多くあるのでもっと丁寧に巡ってみたかったです。 ＊市役所の展示を見て人と防災未来センター東館にある兵庫県立大学大学院を訪問し今年度新設された減災復興政策研究科の青田良介教授の講義を受講し意見交換をしました。 教育研究の中の多様な「主体」が蓄積した経験や教訓を整理し体系化する「ガバメント」から「ガバナンス」へのお話が印象的でした。 お若い方や社会人の大学院生との交流ができて良かったです。 ＊震災保管庫は阪神高速道路の震災被害を623日で復興させた記録と実際の被災構造物を良くきちんと保存していると思い大変貴重な保管・展示だと感心しました。昭和30年代40年代に建造したの他の高速道路のいざという時の 対応やメンテナンスが気になります。		
資料：（含む展示）			

＜報告書について＞

1．提出：1 月 31日（水）までに田中（喜）さん宛提出をお願いします。

2．提出いただいた資料は取りまとめの上、報告・保存資料といたします。

3．問合せ：池田：メール or　080-5007-0885